

近畿青税

No.231

2016年11月15日発行

近畿青年税理士連盟

事務局：大阪市北区梅田1丁目3番1-600号 大阪駅前第1ビル6階1-102号

TEL&FAX 06-6456-3312 <http://www.kinki-aozei.jp>

発行責任者/山下 尚宏 編集責任者/福田 典史

雑 感



第52代 代表幹事 **山下 尚宏**
(兵庫県支部)

代表幹事の山下尚宏です。この広報誌が皆様のお手元に届くころには気候も秋めいて、地域によっては紅葉も始まっているところでしょうか。

さて、秋になると気になってくるのが税制改正の動向です。新聞紙面では夏頃から配偶者控除の廃止、各種人的控除の見直しをはじめとする所得税制の抜本的改革に着手との報道がされています。この原稿の執筆時点では配偶者控除廃止の代替案などの抜本的改革の具体的中身は不明なのですが、気になる事項として基礎控除の見直しが挙げられます。

新聞報道によると、政府税調は基礎控除の金額を現行の定額から収入に応じて増減させる方向で検討に入るとあります。基礎控除は、言うまでもなく憲法25条の生存権を源に最低生活費保障の意味合いを持ったものです。定額控除は確かに高所得の方が優遇されるという問題点はあろうかと思いますが、最低生活費は所得の多寡にかかわらず一人一人の国民にとって同額のはずです。それを収入に応じて増減させるという案に対し違和感を覚えるのは私だけではないと思います。基礎控除の問題だけではなく、今後も色々な改革案が新聞紙面を賑やかすかと思いますが、連盟としても制度部を中心にて全青と一体となってその動向を注視していきたいと思っております。

また、マイナンバーが導入されて約10ヵ月が経過しました。税務の世界では、本格的に

利用されるのは今年の年末調整からとなりますが、雇用保険の実務の現場では一足早く今年の一月から届出書等にマイナンバーの記載が義務付けられております。ハローワークの担当者と話したところ、マイナンバーの各届出書への記載率は10%程度の状況とのことで、マイナンバー制度の周知・普及に関しては厳しい状況にあるとのことでした。

当初は29年1月から運用開始予定であったマイナポータルも、日本年金機構へのサイバー攻撃の影響により運用開始が29年9月に延長されております。しかし運用開始まで一年を切った今でもマイナポータルの具体的な情報が公表されていない状況です。おそらく年末にかけて色々な情報が公開されてくるかとは思いますが、税制改正同様、連盟としましてもその動向を注視していきたいと思っております。

さて、連盟の活動ですが、9月から11月に掛けましては、税制改正意見書及び秋季シンポジウムに向けて活発な活動をしております。税制改正意見書については、藤原委員長を中心に「青税として本会に提出するので、中途半端なものを出すわけにはいかない」と非常に熱い想いで、取り組んでおります。また秋季シンポジウムでは、吉村委員長が中心となり、冊子原稿及びシンポジウム当日の発表内容に頭を悩ましながら、時には泣き言を言いながら取り組んでおります。どちらも完成度の高いものが出来ると確信しておりますので、税制改正意見書及び秋季シンポジウムの冊子が皆様のお手元に届きましたら、是非ご一読いただきたいと思っております。

また12月には本会執行部との懇談会も予定しております。我々青税と本会執行部が本音で議論できる貴重な場がございますので、本会へのご意見等がございましたら、是非、各支部支部長にお伝えください。検討の上、本会執行部に投げかけさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上



全国青税 京都大会

京都大会実行委員長 京都支部 和田 泰裕



全国青税の京都大会は14年ぶりでした。過去の京都大会が驚異的な参加者数を記録したものであったことから、地元京都の先輩方から感じる「わしらを超えてみろ」的なプレッシャーのもと、まずは1年半前の会場選定から準備が始まりました。

初めに同じ京都支部の先輩である福島全国青税会長から「とにかく動員が命！」と言われました。まずは近畿青税の基盤を固めるべく、各支部の会に顔を出しては大会盛り上げを訴えました。行く先々、どの支部でも本当に暖かく迎えていただき、大会ご参加に多大なるご協力を頂きました。最も印象に残る暖かい思い出です。春からは全国青税の各单位会へ大会PRの訪問も行いました。

準備については、年末頃から焦り始めました。なかなか思うように進まず、委員会では議論がぶつかったり、おしかりを受けたり…いろいろございましたが、春頃から急展開！実行委員長を見兼ねたのか、若手会員を中心に「やらせてください！」と次々と自ら手をあげてくれ、最後の1ヶ月は毎日のように集ったり連絡を取り合ったりして準備を進めることができました。

そして大会当日。第一部は、例年と趣向を変え、会場参加型の公開討論会をしたいという会長の思いにより「税制の未来を語ろう！」をテーマに、民間税制調査会の三木先生を迎えたフォーラムを催しました。民間税調と青税の討論を通じ、これからの税制のあるべき姿と税理士の役割を考える素晴らしい会になりました。

第二部の定期総会は、福島会長をはじめとする全国青税執行部の総括、第50代水野誠会長はじめとする新執行部の門出を祝する熱気溢れる総会となりました。

第三部懇親会は、舞妓の舞から始まり、鏡開き、京都市条例による日本酒で乾杯、綿菓子と射的の夜店、単位会代表紹介、韓国税務士考試会とのプレゼント交換、プロジェクターによる映像、そして京都大会のために結成した京都五山の送り火にちなんだ「送り火戦隊・ダイモンジャー」。最後はホワイトベリー「夏祭り」の歌にあわせてみんなで踊りました。「とにかく会場の熱気がすごかった！」とお褒めの言葉を頂戴しました。

全国動員目標543人のところ、590人を超えるお申し込みをいただき、当日は来賓を含めると450人近い皆様にご参加を頂きました。この京都大会の大成功は近畿青税の団結の賜物です。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました！



全国青税 京都大会

京都大会事務局長 京都支部 水野朝太郎



京都大会の事務局長を務めさせていただきました京都支部の水野朝太郎でございます。8月6日に行われました京都大会ですが、多くの会員のご協力のお陰で無事に開催することができました。ありがとうございました。

全国大会の会計が締まっておりますので、私自身はまだ完全に終わったという実感がありませんが…この京都大会を振り返ってみたいと思います。



今回の京都大会は、参加者が400名を超えたこと、そして多くの参加者がフォーラムからの参加であったことなどを考えると大会自体は大成功だったのではないのでしょうか。

準備については時間との勝負だったという思いが一番出てきます。直前にならないと確定しない事項も多々あり、7月は全国大会の準備に多大な時間を使うことになりました。それは私自身が京都支部の勉強会での企画、準備などの経験はありましたが、運営については初めてのことばかりで戸惑ってしまったことと、過去に開催された全国大会には懇親会だけしか参加したことがなかったのでフォーラムや総会の勝手が分からず手探りでの準備となってしまったことが原因でした。そういったこともあり、皆様には直前でご無理なお願いをする場面が多々発生し、その点については本当に多大なご迷惑をお掛けしました。しかし、皆様が文句を言わずに快く引き受けてくださいましたので当日はスムーズに進行することができました。全国大会全般の準備については連盟各支部で担当する箇所を分けたことで、各支部が取り組みやすい雰囲気を作れましたので、概ね順調に取り組めたのではないかと思います。

また、韓国の税務士考試会の方にも京都大会を満喫していただきました。ちなみに私は、韓国語も英語も全く話せませんので、コミュニケーションを取れませんでした(笑)

最後になりましたが、全国大会という大きな事業が成功したのは、ひとえに近畿青税の各支部の正会員の皆様のご協力、また特別会員の方の助言、参加、そして全国青税の方たちの協力、参加があったからこそです。本当にありがとうございました。微力ながら全国大会の準備に携わらせていただきましたことを感謝しております。

第1部 フォーラム 「税制の未来を語ろう！」～青税と民間税調が考える理想の税制に向けて～

全国青税 京都大会

奈良県支部 堀井 亮良



3月31日に和田委員長より、奈良と和歌山はフォーラム準備の担当を拝命しました。奈良の担当は当日のスライドの作成で、全青税の要望書と民間税調の大綱を比較した表を作成しました。4月9日の四月総会にて、額田さんがその場で作り変えて下さったパワーポイントを市木さんに見て頂いたところ、いいんじゃないのということではほぼ奈良の役割は終わったあ、という感じでした。ところが、6月30日の下見会で司会、パワーポイント操作、誘導、マイクランナー、受付要員が必要であることがわかりました。この人選は奈良県支部と谷井和歌山県支部長の協力を得てまとめました。続いて、7月27日糸井副実行委員長より「司会の原稿は？」というメールが届き、全くノーマークだったので焦りましたが、フォーラム関係者のレスポンスの速さに助けられました。8月3日、最終現地打合せということで司会担当の黒田智紀さんを連れて行きましたが、何もできず。。そして迎えた8月6日当日、誘導、司会、パワーポイント操作も直前に全て打合せました。何とかなるもんですね。懇親会や二次会で、うまくいきましたね、というお言葉を頂きホッとしたのを覚えています。フォーラムだけみても、皆様のご協力により成立したのだと思います。



全国青税 京都大会

和歌山県支部 谷井 茂紀



奈良県支部と合同で準備を担当させていただきましたフォーラムは、「税制の未来を語ろう！」というタイトルで、民間税調の三木義一先生VS青税の精鋭3名(水野現会長、坂井元会長、福島前会長)のパネルディスカッションという形で行われました。まず大きな激突となったのが消費税増税について。社会保障の財源確保と財政健全化のためにやむなしとする民間税調に対して、財政を理由に消費増税を容認するなどというのは学者としての怠慢だ！と攻めこむ青税。ヒヤヒヤします。会場に対してのうちわの表裏(青と白)を用いたアンケートでも、10%への増税の可否は約半々で意見が分かれていました(ちなみに10%を超える増税に対しては反対多数でした)。また軽減税率に対しては民間税調も青税もともに反対で一致。そして軽減税率の決定過程が極めて不透明であったことに対する怒りでも一致しました。軽減税率に関して記事を書いても必ず報道規制で抹消されてしまったとの三木先生の発言が個人的にはとても印象的でした(近畿青税は報道規制しないでくださいね!)。最後のまとめとして、税制のみならず、歳出面も含めて検証し、その結果を公表する「オンブズマン」的な役割を青税に期待されて、熱すぎるフォーラムは終了となりました。

第2部 定時総会



8月6日、京都ホテルオークラにて第49回全国青年税理士連盟京都大会が開催されました。全国大会といえば遠いところに遠征に行く感覚でつつい段取りしがちな滋賀青税が今回は総会担当に任命されることになりました。今まで全国大会の準備をしたことがないチーム滋賀が探り探り総会の準備をしていました。中西副支部長が総会担当として総会のシナリオ作成、他支部と調整をし、若林さんのにこやかな受付、志村さん竹端さんの美男美女司会、齋藤さんによるなめらかなパワポ操作、澤田、大黒さんの国体選手コンビによるマイクランナー。これまでは参加するだけだった総会が一変しました。

当日までの準備は中西副支部長と京都支部の総会担当の方々の入念な打ち合わせにより渾身のシナリオが完成していました。

いよいよ当日、京都支部の方々の完璧なお膳立ての元リハーサルを行い、ここでは司会の進行とパワーポイントの表示を合わせることを重点的にやりました。入念な準備とリハーサルのおかげで総会は滞りなく閉会しました。…と言いたいところでしたが、滞りなかったのは開会だけで、のっけから時間が押すに押ししました。テレビの生放送なら完全な放送事故でディレクターの「巻きで！」のサインがずっと出てる状態で、結果30分押しで総会はなんとか閉会しました。

総会の経験のない滋賀青税がなんとか総会を担当できたのは京都支部の皆さんをはじめとするたくさんの方々のおかげだと感じております。皆さん本当にありがとうございました。



第3部 懇親会

全国青税 京都大会

兵庫県支部 辻田 学



京都での全国大会、兵庫県支部は懇親会担当となり、和田実行委員長からは京都の夏の夜をテーマにするので夜店をやってほしいとの要請がありました。前支部長の中川さんを中心にどんな店にするか検討し、一番に出てきたのは射的でした。夜店をやるとなるとやはり外すことはできません。便利な世の中になったもので、射的用の鉄砲と景品台をインターネットで買うことができます。早速鉄砲を2丁注文しましたが、届いた鉄砲を試し打ちしてみると1丁が一発発射しただけで壊れてしまいました。業者にクレームを言ってすぐに取り替えてもらいましたが、ネット通販は便利ですがやはり気をつけなければいけません。店がひとつだけだと少し寂しいので、わたがしもすることにしました。わたがしについてはホテルから機材を借りられることになったので当日ぶっつけ本番で臨むことになりました。

そして当日、わたがしの機械を目の前にして上手くつくれるかどうか不安でしたが、会員のなかに以前わたがしを作っていたことがある方がいました。どんな過去を持っているのか詮索はしませんでした。確かに上手でした。手を止めず、はしを回し続けて形を整えつつふわふわに仕上げるのがコツのようです。会場には20名程度の子供がいましたが、夜店は大人気で射的もわたがしも常に列ができていました。子供はやはり上達が早いです。小さな子でも何回か撃っているうちに上手に的を射ぬけるようになっていました。舞妓さんも射的をしに来てくれました。舞妓と鉄砲という組み合わせが妙に色っぽかったです。

京都での開催ということで関東の会員は家族旅行を兼ねて子供さんを連れてきている方がいつもより多かったようですが、子供にとっては大人たちの中で退屈になりがちなところを夜店で楽しい時間を過ごしてもらえたので役割は果たせたのかなと思います。



全青税 京都大会を終えて

前代表幹事 大阪支部 三谷 智



8月に開催された全青税京都大会は、全国の単位青税から多くの仲間を迎え、盛大裡に終えることができました。改めて多くの会員の皆様にご支援とご協力を賜りましたこと、この紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。京都大会の詳細につきましては前掲に代えさせて頂き、ここでは雑感を記したいと思います。



ここ数年、近畿青税では新しい会員も増え、各支部の活動は活発になってきておりますが、全青税事業への参加は少ないままでした。その中でどのように進めていくか和田委員長と頭を悩ませながら第1回の委員会を開催致しました。しかし、その心配は杞憂と終わり、京都支部現役会員はもちろんのこと、各支部から多くの会員に参加を得ることができ、幾度と無く委員会や小委員会を重ね準備を進めることができました。しかし、開催直前になると、想定外の事項に対応すべく、その度に変更や修正を入れることが増えると、気持ちだけが焦り、委員長と意見がぶつかることも多々ありました。その状況を打破してくれたのが数名の若手会員でした。メーリングリストでのやり取りをもとに問題解決の糸口を見出してくれ、大会当日には各パートに指示を出してくれるまでになりました。これは正しく、私が思い描いていた「京都大会を通じ連盟の一体化をさらに図る」という理想が現実のものとなった瞬間でありました。特に若手会員にとっては、業務に追われながらの活動は非常に大変であったと思います。しかしその苦労は、この達成感で吹き飛んだと思います。全国大会を引き受けることは大きな責任とプレッシャーがありますが、近畿6支部の結



束をさらに強める機会でもあります。今回協力してくれたメンバーにはこの経験を生かし、連盟だけでなく全青税や各支部で積極的に事業運営に参画して頂き、また会員の皆様には、これまで以上の青税活動へのご参加をお願いし、総括とさせていただきます。

新年互例会・新合格者祝賀会の予定

大阪支部

開催日：平成29年1月28日(土)
 開催場所：ホテル大阪ベイトワー 大阪市港区弁天1-2-1(ORC200内) TEL：06-6577-1111
 内容：第1部 オリエンテーション 13:30～14:45(受付13:00～)
 第2部 研修会 15:00～17:00
 講師：元阪神タイガース 関本賢太郎 氏
 テーマ：税理士が持つべきチャレンジ精神
 第3部 新合格者祝賀会 17:30～19:30

京都支部

開催日：平成29年1月28日(土)
 開催場所：ウェスティン都ホテル京都 西館4階瑞穂の間 京都市東山区三条蹴上 TEL：075-771-7111
 内容：第1部 オリエンテーション 15:00～15:30(受付14:45～)
 第2部 研修会 15:45～17:45
 講師：税理士 白井一馬 氏
 テーマ：リスクある事業承継スキームの回避～確実な次世代への継承～
 第3部 新合格者祝賀会 18:00～20:00

兵庫県支部

開催日：平成29年1月28日(土)
 開催場所：ANAクラウンプラザホテル神戸 神戸市中央区北野町1丁目1番 TEL：078-291-1121
 内容：第1部 講演会 13:30～16:30(受付13:00～)
 講師：税理士 金井恵美子 氏
 テーマ：複雑化する消費税の実務と課題
 第2部 合格者歓迎会 17:00～19:00

和歌山県支部

開催日：平成29年1月13日(金)
 開催場所：和歌山税理士会館 和歌山市湊通丁北1丁目1-3 TEL：073-426-3600
 内容：第1部 研修会 17:00～18:30(受付16:30～)
 講師：税理士 大西省悟 氏
 テーマ：未来会計について
 第2部 新合格者歓迎会 19:00～21:00(場所未定)

奈良県支部

開催日：平成29年1月21日(土)
 開催場所：やまと会議室5階 奈良市登大路町36番地 TEL：0742-95-6300
 内容：第1部 研修会 15:00～17:00(受付14:30～)
 講師：税理士 大野 晃 氏
 テーマ：飲食業特化による開業支援～税理士として押さえておきたい創業計画・助成金～
 第2部 合格者歓迎会・新年会 17:30～

滋賀県支部

開催日：平成29年1月21日(土)
 開催場所：ロイヤルオークホテル 大津市萱野浦23番1号 TEL：077-543-9110
 内容：第1部 研修会 16:30～18:00(受付16:00～)
 講師：株式会社八代目儀兵衛 代表 橋本隆志 氏
 テーマ：非常識のブランド戦略
 第2部 合格者歓迎会・新年会 18:15～20:15

幹 事 会 報 告

●第3回幹事会 平成28年8月24日(水) 草津市民交流プラザ会議室

【審議事項】

総務部

1. 名簿作成業者変更の件…合い見積もりを取るなどして再度検討し、次回幹事会にて上程することとなった。

【報告・依頼事項】

総務部

1. 第2回幹事会議事録
2. 各支部へ名簿の提出の依頼について
3. 代表幹事推薦委員会を次回幹事会前に開催する旨について
4. 認定研修に関する事務作業の手続きについて
5. 理事会レポートについて
6. 全青役員名簿について

制度部

1. 制度部会等の日程について

組織部

1. 証票伝達式について

広報部

1. 今後の広報誌の発行予定について

各支部報告

●第4回幹事会 平成28年9月21日(水) やまと会議室5階

【審議事項】

総務部

1. 名簿作成業者変更について…賛成多数で承認可決した。

制度部

1. 連盟と滋賀県支部共催による勉強会について…賛成多数で承認可決した。
2. シンポジウム原稿について…修正等を含め制度部一任で賛成多数で承認可決した。

組織部

1. リーフレット増刷について…内容変更の上増刷する事で賛成多数で承認可決した。

【報告・依頼事項】

総務部

1. 第3回幹事会議事録
2. 代表幹事推薦委員会の委員長に辻田学会員が互選された件について
3. 名簿の進捗状況について
4. 事務局移転について

制度部

1. 制度部会等の日程について
2. 秋季シンポジウムについて

組織部

1. 証票伝達式について

広報部

1. 広報誌の発行について

各支部報告

【協議事項】

制度部

1. 平成30年税制改正に対する意見書について

路 地 裏

2011年の神戸大会以来、5年ぶりに近畿で全国大会が開催されました。そこで今号では、和田実行委員長はじめ各役職を務められた方のご協力を仰ぎ、京都大会を特集しました。数年後に近畿が全国大会を引き受けたとき、後輩たちの参考に少しでもなればと思います。

今号が届くころには年末調整が近づいてきており、代表幹事も冒頭で触れられているようにマイナンバーに本格的に向き合うこととなります。恐らく現状では、集めるのか集めないのかということも含め、事務所ごとに対応が異なる混沌とした状況になるのではと思われます。次の近畿での全国大会の頃にはマイナンバーはどのような運用になっているのでしょうかね。

広報部長 福田典史